

現構想	新構想	補足
3-2 自然再生の目標 1 多様な生物を育む干潟の保全、復元 2 湿地を維持する水循環の再生 3 砂浜環境の保全・回復 4 環境活動・環境教育の推進および各主体の交流する場の創出	3-1 自然再生の目標 1 多様な生物を育む干潟の保全、復元 2 湿地を維持する水循環の再生 3 砂浜環境の保全・回復 4 環境活動・環境教育の推進および各主体の交流する場の創出	表題は現構想を生かす 各目標の内容について、近年のトレンド（外来種,生物多様性,ネイチャーポジティブ等）を取り入れる
2-3 現況評価及び課題のまとめ（課題） 1 潟湖における汽水環境の生態系の劣化 2 干潟面積の減少にともなうシギ・チドリ類の採食・休息活動の減少 3 砂浜環境の変化とコアジサシやシロチドリの営巣環境の劣化 4 無秩序な利用、人為圧による生態系の攪乱	3-2 現況評価と課題（課題） 1 水交換の変化、干潟面積の減少それがもたらす生態系の変化 2 干潟・砂浜環境の変化に伴う鳥類の採食環境、休息活動の場及び営巣環境等の劣化 3 無秩序な利用、人為圧による生態系への影響 4 蒲生干潟生態系の継続したモニタリング	※現況評価は次回以降調整 底生生物を中心とした生態系の変化、汽水環境の変化、陸地化、防潮堤など社会的環境の変化 上記影響による変化 外来種などの影響など 釣り、乗り入れ、いきもの採取、ゴミ捨てマナーを守った利用 変化し続ける干潟生態系のモニタリングの継続の必要性